



2021-22 年度 山形南ロータリークラブ会長方針

「50周年の誓い 人をつなぐ 時代をつなぐ ロータリーで人生に潤いを」 山形南ロータリークラブ会報

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800

RI会長：シェカール・メータ 2800地区ガバナー：矢口 信哉 ガバナー補佐：布施 富将
会長：中村 篤 幹事：河井 直天 会報・史料委員会 委員長：熊谷 一幸
委員：金田 亮一 佐々木健一 鈴木 宏之 堀 優一 片岡 佳彦 山田 雅人

第2323回例会

2021-9/7 (火) 天気(晴)

□例会場：ホテルキャッスル □司会進行 (SAA)：谷口 義洋 君
□点 鐘：PM 12:30 中村 篤 会長

会長挨拶



皆さん、こんにちは。はじめに、ゲストのご紹介をさせていただきます。本日、卓話をいただきます、森谷大仏堂社長森谷 寛様でございます。どうぞ、よろしくお願い致します。

私自身、現在山形市の教育委員を拝命しておりますが、そこで昨年「ギフトッド」という言葉を知りました。「ギフトッド」とは、生まれつき高い知能 (IQ130以上) や突出した才能をもつ若者のことです。「天から才能を授かった人」という意味で海外では広く知られ、かのアインシュタインやマイクロソフトの創業者ビル・ゲイツ、フェイスブックを創設したマーク・ザッカーバーグらが「ギフトッド」だとされています。実は、この「ギフトッド」が日本にも250万人以上いると言われており、人間関係のストレスから体調を崩す、「はみだし者」のレッテルを貼られる、不登校など9割近くの若者が何らかの生きづらさを感じているそうです。そこで、近年教育界ではこれまでの1つ

ーギフトッドとはー

の枠にはめず、ひとり1人に寄り添う個性や多様性を重んじる姿勢が重要視されております。これは、今の新型コロナの対策にも言えることですが、我々の仕事においても様々なお客様の多様なニーズに対応していくことと、同様だと思われま

さて、恒例の「シリーズあの日プレイバック」は、昭和51年 (1976年) です。この年の5つのトピックスをご紹介します。

1. ロッキード事件で田中角栄前首相が逮捕
2. 酒田大火により1774戸が焼失
3. 「おかげ！たいやきくん」とクラリオンのカラオケセットの大ヒット
4. 大和運輸が「クロネコヤマトの宅急便」をスタート
5. 8月、のちのトップアイドルになるピンク・レディーが「ペッパー警部」でデビュー

番外として、当クラブ関係で 浅野裕幸 会員が生まれる。昭和51年は、日本の社会が大きく揺れ動いた年という印象がします。

幹事報告 河井 直天 幹事

1. 今月9月28日(火)に予定されております「ファイヤーサイドミーティング・いも煮祭り例会」につきましては、山形県発令中のコロナ感染対策のその後の状況の動きも見まして、9月13日以降に改めてご案内させていただきます。
2. 第2800地区より連絡が入りまして、10月16・17日に開催を予定しておりました地区大会につきまして、コロナ感染拡大が収まりを見せない事から、来年2022年の4月29日(金)・30日(土)に延期することを決定されたと言う事ですのでお知らせ致します。
3. 山形市内7RC親善ゴルフコンペ、10月3日(日)開催予定となっておりますが、只今、皆様にFAXにて参加ご案内をさせて頂いております。
4. 今月のロータリーレートは、1ドル・110円です。
5. この例会の終了後に、理事会が引続きございますので、理事の方は、そのままお残り下さい。



米山奨学生のチリ・ムゲさん、イ・ソヨンさんのお二人に奨学金の贈呈。

委員会報告

親睦活動委員会 渡辺 崇 君
○9月の誕生祝は、山田雅人君、渡辺 崇君、布施富将君、熊谷昌和君、谷口義洋君、佐々木健一君の6名の方です。おめでとうございます。



ニコニコBOX 佐々木啓充 君

- 布施 富将君 誕生祝ありがとうございました。
- 谷口 義洋君 誕生祝ありがとうございました。
- 伊勢 和正君 久しぶりに例会出席させていただきました。
- 渡辺 崇君 誕生祝ありがとうございました。
- 熊谷 昌和君 誕生祝ありがとうございました。



例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内	月曜日 山形西 山形イブニング	火曜日 山形中央	水曜日 山形	木曜日 山形北	金曜日 山形東
------------	--------------------	-------------	-----------	------------	------------



『山形の伝統的工芸品 仏壇と神輿について』

森谷大仏堂

社長 森 谷 寛 氏

『山形仏壇』とは、伝統の技、職人の魂

山形仏壇の歴史は残存する記録や文献によれば、江戸中期の享保年間にさかのぼります。

およそ300年前ということになりますが、大曾根村生まれの星野吉兵衛が江戸浅草の工匠に師事し木彫りを学び、帰郷して欄間(らんま)、仏具の彫刻をなりわいとしたのが始まりです。

◆伝統的工芸品の指定を受ける

1980(昭和55)年、『伝統的工芸品の指定』を受けました。

山形県仏壇商工業協同組合

明治44年11月にその前身である「仏像・神輿・仏壇組合」として組織され、昭和25年2月現在の名称となりました。

組合員の製作する山形仏壇は、第19回全国伝統的工芸品仏壇仏具展において、経済産業省製造産業局長賞を受賞するなどその技術・技法は全国的にも一目置かれております。

みちのく匠の技『山形仏壇』の特徴

山形仏壇の特長は、全て、手作業によって生み出され、まさに、山形仏壇の300年の伝統です。

仏壇の正統的様式である金箔を施した荘厳で重厚な輝き。

仏の座を飾るに相応しく、奥行きを感じさせる精巧な細工と塗りが施され、長い時の経過にも耐える堅牢さを持っております。

創業より200年の森谷大仏堂は、山形仏壇の技をお神輿などにも取り入れ製作を行っています。

祭りの象徴であり、時として人々の心の支えともなる神輿。

森谷大仏堂は、この神輿の制作に職人の手から手へ、心から心へと受け継がれる技の冴え、永年培われてきた高度な伝承技術の粋を尽くします。

製造から販売までの一貫した厳しい品質管理を行い、常にご満足のいく最良の製品をお届けしております。

『伝統的工芸品』指定を受けております。

300年の伝統をもつ山形仏壇は、日本の伝統的な技術・技法を後世に伝えるために昭和49年に制定・施行された「伝統的工芸品産業振興法」に基づいて、昭和55年に経済産業大臣より伝統的工芸品として指定を受け、その伝統的技術技法の優秀性を認められました。

森谷大仏堂本店は常にご満足のいく最良の製品をお届けしております。



9月度理事会報告

【協議事項】

1. 創立50周年記念式典実行委員会組織の承認何かが理事会にて承認されました。
2. 山形RACの年間運営費に対する、共同提唱クラブからの拠出金について今年度の山形RAC運営費拠出金は「30万円」、山形南RCの拠出額は「10万円」以上の、今年度(案)が理事会にて承認されました。

【報告】

1. 地区大会の開催日延期:
変更前 2021年 10月16日(土) 17日(日)
変更後 2022年 4月29日(金) 30日(土)
2. 9月28日(火)ファイヤーサイドミーティング・いも煮祭り例会について13日(月)に会長・幹事にて開催有無を判断して、14日(火)に発表致します。

【その他】

1. 10月30日(土)悪戸芋収穫体験について金井幼稚園側からの参加費徴収は、今年度は無しとする。
2. 昨年度からの委員会引継10月半ばまでを目安に、例会の中で実施検討する。
3. 「次回の理事会」次週、9月14日に臨時にて開催する。
4. 「各委員内のメンバー欠席過多の委員への対処方法」当面は、例会参加者が委員担当ではなくとも、代行フォローする。

○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	53名		32名	
前回修正				

※本日の結果は2週間後に報告

※修正は2週間前の結果報告
出席会員数÷算出会員数=出席率

算出会員数とは? 出席義務会員+マイク免除会員の出席者

出席会員数とは? 出席義務会員の出席者+マイク免除会員の出席者+マイク会員